

視察・研修報告書

視察・研修先	第18回全国市議会議長会研究フォーラム
日時	令和5年10月25日・26日
場所	西日本総合展示場(北九州市)
テーマ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
対応者 (講師)	基調講演:片山善博 パネルディスカッション:谷隆徳、勢一智子、辻陽、濱田真里、田仲常郎 課題討議:江藤俊昭、辻弘之、たぞえ麻友、永野慶一郎
概要	
<p>【10月25日】</p> <p>13:20-14:20</p> <p>●基調講演</p> <p>講師の片山善博元鳥取知事の行政改革の経験を踏まえた講話 二元代表制であるが、議会の存在が希薄で、市民からの関心も低い 公開の場で議論し、物事を変えることが重要 片山県政時代は議会による議案や予算案修正は通常だった 議会が懸案事項についてヒアリングして、税率を時限的に上げることも方策の一つ 役所が動かないのであれば、議会が動くことも重要</p> <p>14:40-16:40</p> <p>●パネルディスカッション</p> <p>谷氏による今年の統一地方選挙について論評があり、無投票当選について触れた 投票率や立候補者数をアップするために、 票ハラスメントに対しては第三者の介入 →研修や相談窓口、倫理条例で中立、透明性、秘匿が前提の第三者機関を提言 模擬選挙の実施や議場見学の活性化 →主権者教育の重要性と継続性のたいせつき 議員に対する若者のイメージ改善と議員の業務の発信などが挙げられた</p> <p>【10月26日】</p> <p>9:00-11:00</p> <p>●課題討議</p> <p>定数不足だけでなく女性や世代などの多様性も含めたなり手不足の問題 政策論争にならず、主権者意識の希薄化につながる →政治劣化を防止するための議会改革＝政策の成果を生み出す仕組み →成果を生み出す仕組みこそ評価することが重要 議会改革は近隣市を含む社会的課題を解決するための仲間づくりでもある</p>	

所 感

議員の担い手不足が昨今、地方議会の課題となっている。その中で、今回のフォーラムでは、かつてあった議員年金のような位置づけとして、厚生年金の適用の話もあった。また議員報酬の増額の話もあった。しかし、それで果たして議員の担い手が増えるかという疑問である。もちろん議員報酬や厚生年金は議員の不安定な生活を支えるもので環境改善の一つである。しかしながら、第一には二元代表制として機能する党派および会派を越えた議会改革を行い、議員一人一人が議会活動、議員活動を行える環境の整備ではないだろうか。

その一つがDX化によるオンラインによる議会であり、ハラスメントのない議会だと思われる。これらが整備、浸透されていなければ、金銭の待遇改善では小手先に終わると思われる。また議員報酬ではなく、政務活動費の拡充のほうが議員活動の活発化に寄与し、未使用分は返納できるので望ましいと思われる。

主権者教育の重要性、立候補のハードルの一つであるハラスメントについても具体的な提言もあり参考になった。

-作成者 中村 慎一郎-